

タジマ多機能機

取扱い上の注意事項

PAX-VF

PAR-VF

HAR-VF



まえがき

このユーザーズマニュアルは、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。内容を理解されたうえでご使用ください。

本書は、詳細において本製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

「セットアップ要領書」は、本製品に対する知識を深めていただくうえでお役に立つものと考えておりますので併せてお読みください。

関連する製品の取り扱い方法については、マニュアル CD に収めてある専用のユーザーズマニュアルをご参照ください。

東海工業マシン株式会社

安全上のご注意

本製品をお使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表記します。



誤って取り扱くと、死亡あるいは重傷^[*1]となる危険性がきわめて高い注意事項




誤って取り扱くと、死亡あるいは重傷^[*1]となる可能性のある注意事項





誤って取り扱くと、軽傷^[*2]を負う、または物的損害が生じる可能性のある注意事項

*1: 感電、けが、骨折などで後遺症をもたらす、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

*2: 治療に入院や長期の通院を要さないもの。

: 禁止事項

: 守らなければ感電するおそれのある事項
















: 安全のために守っていただきたい事項

1.	警告と注意	1
1-1.	警告	1
1-2.	注意	2
2.	各部の使い方	4
2-1.	電源スイッチ	4
2-2.	非常停止スイッチ	7
2-3.	パースイッチ	10
2-4.	起動／停止スイッチ	11
3.	警告シール	13

1. 警告と注意





1-1. 警告

警 告




-  本機は業務用です。革製品、繊維製品、半製品および類似の素材に穴あけ、縫製、刺繍する目的で使用します。^[1] 原則としてこの用途以外には使用しないでください。
-  本機の上に乗らないでください。
-  電源ボックスや操作パネルボックスなど制御回路の近くで携帯電話のような電磁波を発生する機器を使用しないでください。本機が誤作動するおそれがあります。
-  シャフト、プーリなどのカバーを外さないでください。また、カバーを外したまま本機を運転しないでください。
-  運転中は、針元に手などを近づけないでください。針、またはポンス針が刺さって負傷するおそれがあります。
-  運転中は、可動部に手や顔を近づけないでください。特に、枠、針、釜、天秤、プーリおよび減速ボックスの付近は危険です。(PAX-VF、HAR-VF)
-  運転中は、可動部に手や顔を近づけないでください。特に、枠、ポンス針、プーリおよび減速ボックスの付近は危険です。(PAR-VF)
-  本書をよく読み、操作内容を確実に理解した上で本機を操作してください。
-  本機の操作に適した服装、身なりで本機を操作してください。
-  本機は原則的に 1 名で操作してください。複数で作業する場合、可動部の近くに作業者がいないことを確認した上で本機を動かしてください。
-  関係者以外の方が操作することのないように、立ち入りを監視できる環境下で使用してください。子供が本機の近くに立ち入らないようにしてください。
-  本機の操作は、操作に必要な十分な訓練を受けた人が行うようにしてください。
-  本機の後ろ側は、作業領域ではありません。本機の後ろ側へまわるときは電源スイッチを切ってください。
-  針に糸を通したり、穴あけ状態、縫製、刺繍仕上がりを確認するときは、本機を停止させてください。
-  穴あけ状態を確認するときは、本機を停止させてください。(PAR-VF)

[1] PAR-VF は、穴あけのみです。HAR-VF は、刺繍と縫製のみです。

 **警告**

-  電源コードやその他の配線コードを傷つけたり、加工、加熱したり無理な力を加えないでください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。
-  電源プラグは確実に差し込んでください。電源プラグの電極に金属などが触れると、火災や感電の原因となります。
-  電気関連部に水や薬品などが入らないようにしてください。回路がショートして火災あるいは感電の原因になります。もしも入った場合、電源スイッチを切り、元電源を切ってから販売代理店にご連絡ください。
-  電気関係の各ボックスを開けるときは、電源スイッチを切り、元電源を切ってください。感電の原因となります。

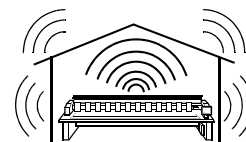
1-2. 注意 **注意**

-  本機の設置後 1 週間程度は「ならし運転」として最高回転数の 7 割程度で稼働させてください。ならし運転をすることによって、本機の寿命が長くなる、または予期せぬトラブルの防止に役立ちます。
-  曲がった針や素材に合っていない針を使用しないでください。(PAX-VF、HAR-VF)
作業終了後は電源スイッチを切り、元電源を切ってください。
-  ミシンテーブルの上に物を置かないでください。

⚠ 注 意

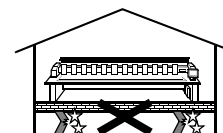
! 騒音対策に留意すること

本機は騒音対策を考慮して設計されていますが、より良い効果を上げるために内装（内壁、天井、床）の材質は消音効果の高いものを使用してください。



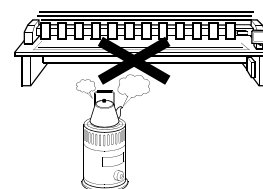
! 床面は強固であること

床内層は本機の重量（銘板に記載）に耐え得る構造でなければなりません。



! 埃や湿気に留意すること

埃や湿気は本機の汚れや錆の原因となりますので、空調機器の設備のもとで使用し、定期的に作業場を清掃してください。なお、縫い糸の乱れを防ぐために空調機器の風が直接本機に当たらないように留意してください。



湿度：

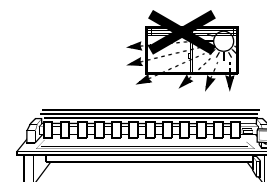
30～95%RH（相対湿度）ただし、結露しないこと

周囲温度：

5～40°C（動作時）、-10～60°C（保存時）

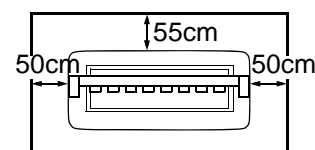
! 直射日光が当たらないこと

長い間、直射日光が当たると本機が変色または変形することがあります。このような問題を防ぐためにカーテンやブラインドなどで直射日光を遮ってください。



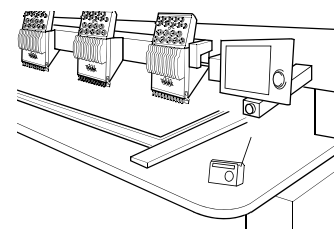
! 保守点検のためのスペースを確保すること

本機を保守点検するときの作業性を考慮し、本機の左右は、50cm 以上、および後方には、壁などの障害物に対して 55cm 以上の作業スペースを設けるようにしてください。



! 電波障害に留意すること

本機は他の機器に電波障害を与えないような対策が施してありますが、使用環境や他に使用する機器の種類によっては電波障害を与える場合があります。この場合は、電波障害の生じた機器と本機との間隔をできる限り大きくとるようにしてください。



2. 各部の使い方

2-1. 電源スイッチ

電源を入れるときは、電源スイッチを「ON」にしてください。電源を切るときは、「OFF」にしてください。運転中に非常停止スイッチを押したときや電源が遮断されたとき、電源スイッチは中間位置になります。

シグナルタワーがつく場合 (→ p.6)

⚠ 注 意

- ❗ 電源を入れ直すときは、30 秒以上間隔をあげてください。システムが正常に立ち上がらない場合があります。
- 🚫 USB メモリーを操作パネルに差し込んだまま、本機の電源を入れしないでください。システムが立ち上がらない場合があります。

ON(*1)



OFF(*1)



ON と OFF の中間位置



解除するときは、一度「OFF」にしてから、「ON」にしてください。

(*1)

電源スイッチのシンボル表記について

“|” 電源スイッチ：入

“○” 電源スイッチ：切

電源スイッチを施錠するときは、南京錠をご使用ください。



南京錠(市販品)

仕様によっては、以下のタイプもあります。

ON(*1)



OFF(*1)



ON と OFF の中間位置



(*1)
電源スイッチのシンボル表記について

“|” 電源スイッチ：入

“○” 電源スイッチ：切

解除するときは、一度「OFF」
にしてから、「ON」にしてくだ
さい。

電源スイッチを施錠するときは、南京錠をご使用ください。



南京錠(市販品)

[シグナルタワーがつく場合]

警告

！ 清掃、給油、グリスアップするときは、主電源スイッチを切ってください。機械に巻き込まれて重傷を負うおそれがあります。

シグナルタワーがつく場合、2 連式電源スイッチの選択ができます。

2 連式電源スイッチ



主電源スイッチ

主電源スイッチを「ON」にすると、シグナルタワーの電源が入ります。

機械電源スイッチ

主電源スイッチが「ON」の状態、機械電源スイッチを「ON」にすると、本機の電源が入ります。

(1) 電源の入れ方

1. 主電源スイッチを「ON」にしてください。
2. 機械電源スイッチを「ON」にしてください。

(2) 電源の切り方

1. 機械電源スイッチを「OFF」にしてください。
2. 主電源スイッチを「OFF」にしてください。

2-2. 非常停止スイッチ

安全対策として非常停止スイッチが装備されています。機種によって以下の 2 種類あります。運転中、このスイッチを押すと電源が切れ、本機は停止します。このとき、電源スイッチは、中間位置に切り換わりま

す。

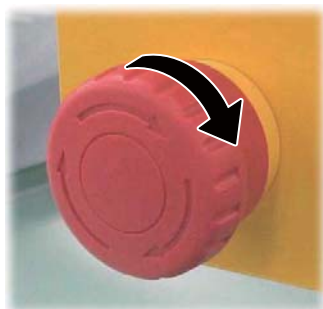


[復帰方法]

⚠ 注 意

⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

(1) スイッチを右に回してください。ロックが解除されます。



- (2) 電源スイッチは「中間位置」になっています。電源スイッチを「切」→「入」にしてください。このとき、間隔を 30 秒以上あけてください。



2 連式電源スイッチの場合、本機の電源が切れ、機械電源スイッチのみ「中間位置」になります。

- (3) 通電後、電源が立ち上がったら、縫い状況に合わせて、どちらかのアイコンを押してください。アイコンを押すと枠が動きます。



糸を切ってから枠移動します。



糸を切らずに枠移動します。

- (4) 枠移動後、枠が元の位置より数針先に移動する場合があります。枠位置を確認後、フレームバックさせてから縫いを再開してください。

[途中で電源が遮断されたとき]

停電などの要因で電源が遮断されたときは、以下の手順に従って縫いを再開してください。

⚠ 注 意

❌ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

- (1) 通電後、電源が立ち上がったら、アイコン G を押してください。コード No.2E3 がリセットされます。



- (2) 縫い状況に合わせて、どちらかのアイコンを押してください。アイコンを押すと枠が動きます。



糸を切ってから枠移動します。



糸を切らずに枠移動します。

- (3) 枠移動後、枠が元の位置より数針先に移動する場合があります。枠位置を確認後、フレームバックさせてから縫いを再開してください。

2-3. バースイッチ

! 注 意

! 起動する前に、十分に周囲の安全を確認してください。針棒や枠が動きますので負傷するおそれがあります。



(1) 停止中

バースイッチを右に動か し、すぐに離す	運転開始
バースイッチを右に動か し、その位置で保持する	ゆっくり運転します。 手を離すと通常運転になります。
[Hヘッド (PAX-VF、HAR- VF)] バースイッチを左に動かし 手を離す (10 針まで)	糸切れしたヘッドは、そのヘッドの布押えが FB 位置になり、1 針 単位でフレームバックします。 糸切れしていないヘッドは、そのヘッドの布押えが退避位置になり、 1 針単位でフレームバック、またはフレームフォワードします。 フレームバック： 針棒が停止した状態で、ステッチが戻る方向に枠を移動さ せること。 フレームフォワード： 針棒が停止した状態で、ステッチが進む方向に枠を移動さ せること。
[Pヘッド] バースイッチを左に動かし 手を離す (10 針まで)	布押えが退避位置の状態、1 針単位でフレームバック、またはフ レームフォワードします。

バースイッチを左に動かし、その位置で保持する (11 針以上)	フレームバック、またはフレームフォワードを続行します。手を離しても停止しません。 枠の送り量は 1、3、5 針から選択できます。 再度、左に動かすと FB/FF を中止します。
------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

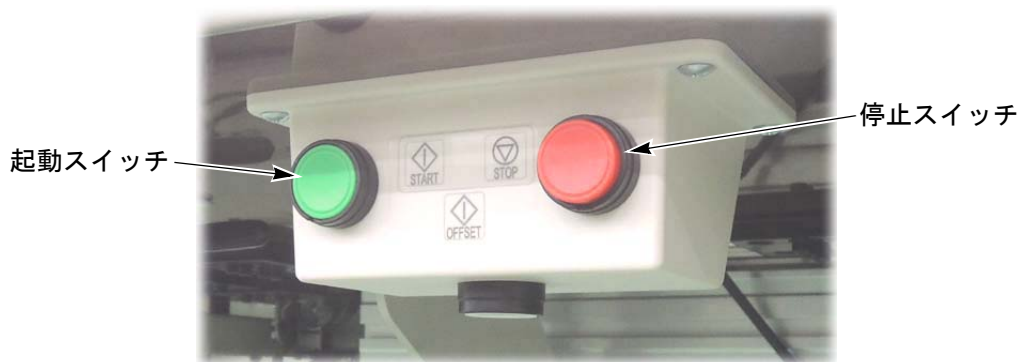
(2) 運転中

バースイッチを左に動かし 手を離す	運転停止。布押えは、布押えのストローク上死点で停止します。
バースイッチを右に動かし、その位置で保持する	刺繍速度が下がり、ゆっくり運転になります。

2-4. 起動／停止スイッチ


注 意

- !** 起動する前に、十分に周囲の安全を確認してください。針棒や枠が動きますので負傷するおそれがあります。



(1) 停止中

起動スイッチを 1 回押す	運転開始
起動スイッチを押し続ける	ゆっくり運転します。 手を離すと通常運転になります。


<p>[H ヘッド (PAX-VF、HAR-VF)]</p> <p>停止スイッチを 1 回押す (10 針まで)</p>	<p>糸切れしたヘッドは、そのヘッドの布押えが FB 位置になり、1 針単位でフレームバックします。</p> <p>糸切れしていないヘッドは、そのヘッドの布押えが退避位置になり、1 針単位でフレームバック、またはフレームフォワードします。</p> <p>フレームバック： 針棒が停止した状態で、ステッチが戻る方向に枠を移動させること。</p> <p>フレームフォワード： 針棒が停止した状態で、ステッチが進む方向に枠を移動させること。</p>
<p>[P ヘッド]</p> <p>停止スイッチを 1 回押す (10 針まで)</p>	<p>布押えが退避位置の状態、1 針単位でフレームバック、またはフレームフォワードします。</p>
<p>停止スイッチを押し続ける (11 針以上)</p>	<p>フレームバック、またはフレームフォワードを続行します。手を離しても停止しません。</p> <p>枠の送り量は 1、3、5 針から選択できます。</p> <p>再度、左に動かすと FB/FF を中止します。</p>


(2) 運転中

<p>停止スイッチを 1 回押す</p>	<p>運転停止。布押えは、布押えのストローク上死点で停止します。</p>
<p>起動スイッチを押し続ける</p>	<p>刺繍速度が下がり、ゆっくり運転になります。</p>

3. 警告シール

この機械には、操作を安全に行っていただくための警告シールが貼ってあります。機械を使用するときは、警告シールに書かれている警告内容を厳守してください。警告シールをはがしたり、印刷面を塗料などでおい隠すようなことはしないでください。警告シールを紛失、または破損させたときは、販売代理店までお問い合わせください。


[a]  感電による火傷や、死亡または重傷となるおそれあり。当社指名のサービスマン以外はカバーを開けないこと。カバーを開けるときは、電源スイッチを切ってから4分以上待つこと。

[b]  巻き込みのおそれあり。
当社指名のサービスマン以外はカバーを開けないこと。


[c] 巻き込み注意

WARNING • AVVISO • UYARI • 警告	
	Moving parts can cause severe injury. Do not take off the safety covers nor put your hands etc. close to the moving parts during machine operation. Le parti in movimento possono causare danni gravi. Non rimuovere le protezioni di sicurezza, non avvicinarsi le mani, ecc. vicino alle parti in movimento mentre la macchina è in funzione.
	Hareketli parçalar ciddi yaralanmalara neden olabilir. Makine çalışırken hareketli parçaları yalınana ellerinizi koymayınız ve güvenli kapaklarını açmayınız. 機動部稼働中、不可近安全蓋、并不可近手等靠近可動部附近。
	巻き込み、挟み込み注意 重傷を負うおそれあり。 機種の動作中は、安全カバーを外したり、手などに近づいたりしないでください。
	<small>(A498-41TC)</small>

[e] 針元注意

WARNING • AVVISO • UYARI • 警告	
	Exposed needles can cause severe injury. Do not insert your fingers etc. under the needle or the hole puncher needle during machine operation. Avvicinarsi agli aghi può causare danni gravi. Non inserire le dita ecc. sotto l'ago o la berra ago del puncher mentre la macchina è in funzione.
	Açıkta olan iğneler ciddi yaralanmalara neden olabilir. Pimlerin altına vs. makine çalışırken iğnenin veya delgeçin altına sokmayın. 注意 針元 有可能負傷。 在機動部稼働中、請不要將手指伸到刺針或打孔針下。
	針元注意 重傷を負うおそれあり。 機種の動作中は、針元部分の下に指などを差し込まないでください。
	<small>(A1128-4EFC)</small>

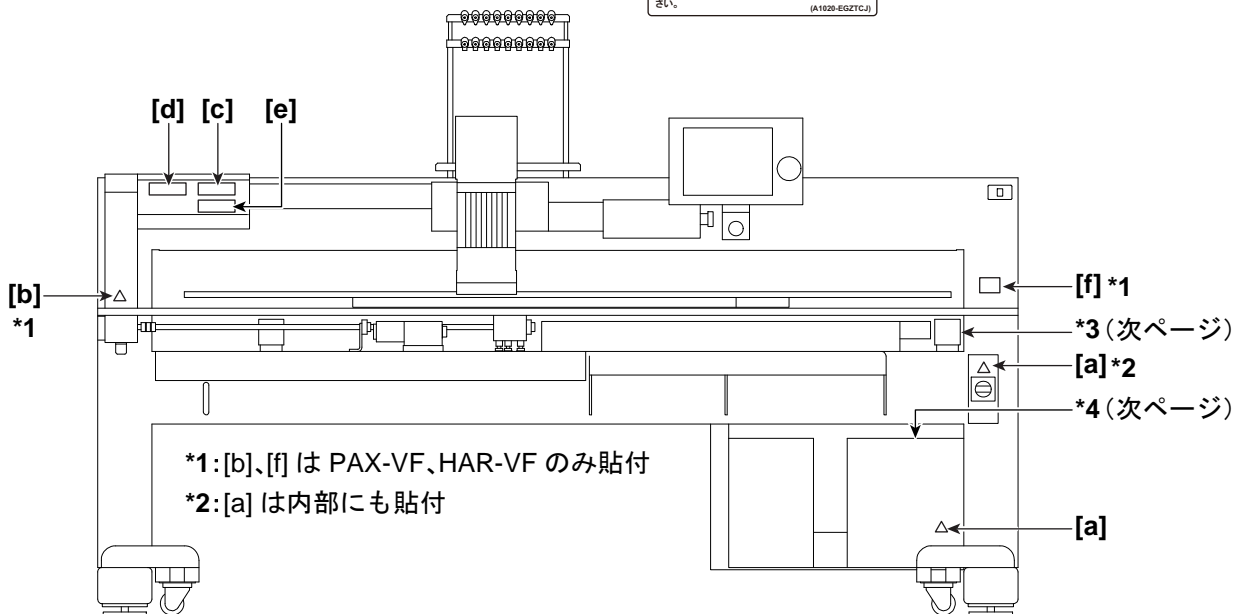
[d] 挟み込み注意

WARNING • AVVISO • UYARI • 警告	
	Moving parts can cause severe injury. Do not take off the safety covers nor insert your hands etc. into the gap during machine operation. Le parti in movimento possono causare danni gravi. Non rimuovere le protezioni di sicurezza, non inserire le mani ecc. nello spazio vuoto mentre la macchina è in funzione.
	Hareketli parçalar ciddi yaralanmalara neden olabilir. Makine çalışırken hareketli parçaları yalınana ellerinizi koymayınız ve güvenli kapaklarını açmayınız. 機動部稼働中、不可近安全蓋、并不可近手等挿入隙間。
	挟み込み注意 重傷を負うおそれあり。 機種の動作中は、安全カバーを外したり、手などに近づいたりしないでください。
	<small>(A492-41TC)</small>

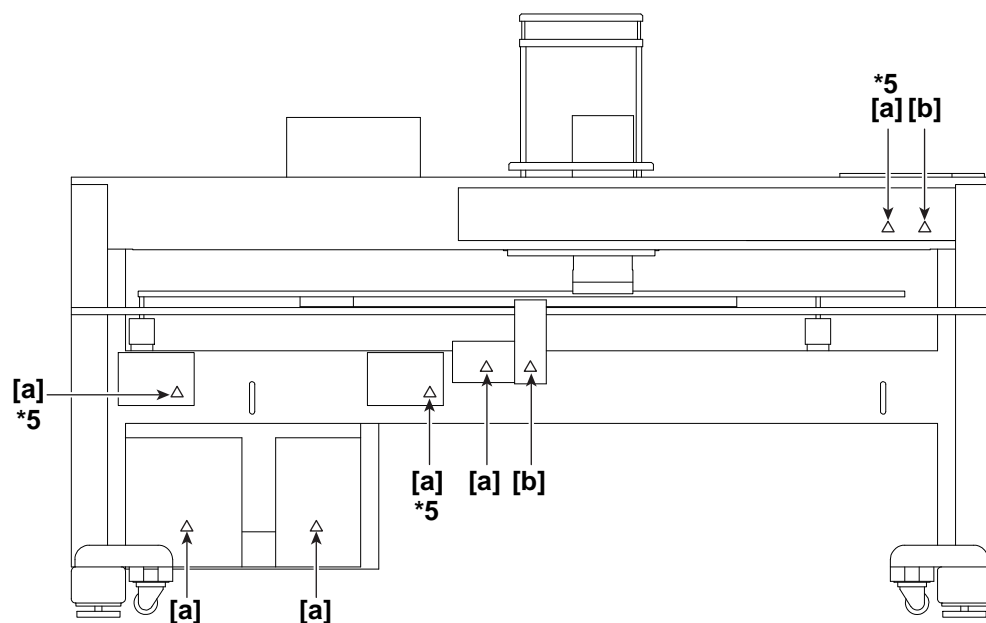
[f] 釜注意

CAUTION • ΠΡΟΦΥΛΑΞΗ VÝSTRAHA • DİKKAT • 注意	
	Moving parts Turn off the switch before accessing to the rotary/shuttle hook. KİNOYMENA MERH APENEF OPOMIETE TO DIAKOPHTH PRIN PANHIAZETE STO STROΦAΛO. Pohybující se součásti Vypněte hlavní vypínač před přístupem k rotačnímu kyvadlovému čapáči. Hareketli parçalar Çalışma/Mekik'e ulaşmadan Ana Şalteri kapatın. 注意可動部 在機動部稼働/半回転後、請閉閉開閉。 可動部注意 釜/半回転産に触れる前にスイッチを切ってください。 <small>(A1928-EGZTC)</small>

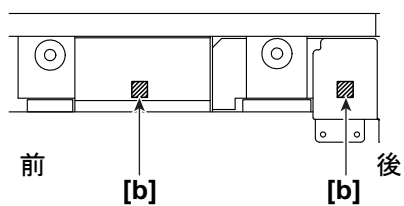
[正面]



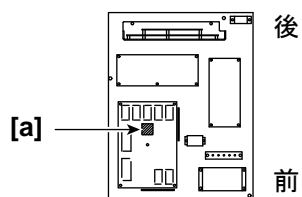
[背面]



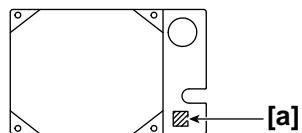
*3 : X 軸駆動部ベルトカバーを横から見た図



*4 : 電源ボックスを上から見た図



*5 : [a] は、カバー内部の X 軸 / Y 軸 / 主軸ドライバ基板ベースにも貼付されます。



初 版 2018年4月

■製造元：東海工業ミシン株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地

TEL：(0568)33-1161（代表） FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒461-0011 名古屋市東区白壁三丁目19番22号

TEL：(052)932-3811（代表） FAX：(052)932-3815

本書の一部または全部を無断で複製、転載、改編することを禁止します。

THE TAJIMA GROUP

<http://www.tajima.com>

Tajima Industries Ltd.

19-22, Shirakabe, 3-chome, Higashi-ku, Nagoya, 461-0011, JAPAN
TEL.(052)932-3811 FAX.(052)932-3815

Tokai Industrial Sewing Machine Co.,Ltd.

NO.1800, Ushiyama-cho, Kasugai, Aichi-pref., 486-0901, JAPAN
TEL.(0568)33-1161 FAX.(0568)33-1191